

競技上の諸注意

- 1 競技は(財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」及び大会要項・大会出場規定に従って行う。マッチは7ゲームとする。天候などの状況により5ゲームとする場合もある。(各都県の委員長会議で決定する。)
- 2 コート割及び進行は別表のとおりとするが、本部の判断で変更をすることがあるので、放送には十分注意する。
- 3 規定のゼッケンを選手は背中に、監督及びコーチは左胸につける。
- 4 選手及び監督・コーチは、審判の指示に従いマッチの開始から終了まで連続的にプレーする。
- 5 選手及び監督・コーチはお互いにマナーを尊重し、過度のかけ声または相手プレーヤーを挑発したり、不快にする言動はしない。
- 6 審判のコールの後からポイントが決定するまでの間、発声及び拍手等による応援は禁止する。
- 7 マッチ中のコートにおいて
 - (1) 個人戦は監督またはコーチ1名のベンチ入りを認める。ただし、2ペア以上出場している学校で追加監督(教員また外部指導者)の許可を得ている場合は、それぞれのペアに対し1名の監督またはコーチのベンチ入りを認める。
 - (2) 団体戦は監督またはコーチ1名のベンチ入りを認める。
 - (3) ベンチは番号の若い方の選手は、入退場用の中央通路側とする。
 - (4) マッチ中の助言は、チェンジサイズ及びファイナルゲームに入る前に所定のベンチで行うことができる。ただし、前のゲーム終了から1分以内に次のゲームを開始する態勢に入るものとする。また、身体上の手当についても選手、監督・コーチともに認める。
- 8 異議の申し立ては、選手、監督・コーチともにできない。ただし、質問する事を妨げるものではない。
- 9 個人戦について
 - (1) トスは各マッチ、コート上で行う。
 - (2) マッチ開始前の呼び出しは原則として行わないので進行には十分注意し、前のマッチの開始後指定の選手集合場所に集合する。前のマッチの開始後5分経過しても集合しない場合は、集合の通告(放送)を行う。通告後5分経過で警告1回とし、10分経過で警告2回とする。15分経過で失格とする。ただし、第1マッチについては、8時20分までに指定の集合場所に集合する。
 - (3) 監督・コーチのベンチ入りは1マッチ1回のみとして試合途中でベンチから出た場合、再びベンチに入ることは認めない。
 - (4) コートへの入場時に、他のコートにおいて同校のペアがマッチ中のため入場できないときは、マッチ途中からのベンチ入りを認める。
 - (5) 監督はコート内では指定されたベンチに着席し、マッチ中の監督交代は認められない。
 - (6) 選手は監督・コーチの助言を受けるために、他のコートに移動してはいけない。
- 10 団体戦について
 - (1) 3点の点取り法による対抗戦とし、2回戦以降は2点先取とする。勝敗がついた時点で省略ゲームとする。
 - (2) マッチ開始前の呼び出しは原則として行わないので進行には十分注意し、対戦相手が決まり次第、速やかにオーダー票を指定場所に提出する。また時間が指定された場合はその時間内に提出する。
 - (3) 前の試合の2対戦終了後、指定の選手集合場所に集合する。前の試合の2対戦終了後5分経過しても集合しない場合は、集合の通告(放送)を行う。通告後5分経過で警告1回とし、10分経過で警告2回とする。15分経過で失格とする。
 - (4) 1回戦のオーダーは8時10分までにオーダー提出所に提出する。
 - (5) トスは各マッチごとにコート上で開始前に行う。
 - (6) 大会運営上、2面展開等で行うこともある。この時も、監督・コーチは1名とする。
 - (7) 選手及び監督・コーチは、コート内では指定されたベンチに着席する。ただし、ウォーミングアップのためにベンチの横で身体を動かす程度は認める。
- 11 監督会議後の選手変更は、個人戦エントリーにおいて監督会議後の急病・けがの場合の1名に限り当日の8:00までに書面で各都県委員長が競技委員長に提出し、承認を得る。